



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2016 - 2017 年度テーマ

R.I. テーマ 「人類に奉仕するロータリー」

R.I. 会長 ジョン・ジャーム
地区ガバナー 上山 昭治

クラブテーマ 「関心をもって感動を分かち合おう」

クラブ会長 渡辺 丈樹



2016年12月7日

第1477回例会

会長 渡辺 丈樹
幹事 岩田 幸一

本日の卓話

「大震災のリアル トイレ編」

環境教育講師 吉高美帆 様

今後の卓話予定

12/14	会員卓話	松本会員、宮村会員、宮崎会員
12/21	夜間例会	クリスマス家族会
12/28	休会	



12月結婚記念日

3日 (49周年) 中村ご夫妻 ・ 10日 (28周年) 伊石ご夫妻



12月お誕生日祝

8日 (63才) 宮崎守弘君 10日 (63才) 後上 清君
21日 (63才) 浜中 清君

前回 (11/16 1475 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト	1名	地区ロータリー財団委員 東京江東R.C. 大澤栄一様
◆ビジター	20名	山形長井中央R.C. 尾形真一会長、村井春美幹事、田中 元会長エレクト 山形長井中央R.C. 遠藤和雄様、遠藤米子様、樋口正通様、鈴木忠司様、我妻喬一様 山形長井中央R.C. 我妻ヨシ子様、安部義裕様、伊藤源次様、沼澤岩夫様、手塚隆幸様 山形長井中央R.C. 高橋早苗様、那須 斉様、佐藤 章様、梅津雄治様 東京浅草R.C. 岩崎 隆様、東京足立R.C. 北澤艶子様、東京小石川R.C. 梶原徳二様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
42名	0名	5名	30名	8名	78.95%	1473回例会修正 欠席1名・出席率97.37%

会長報告 < 渡辺会長 >

- ・今日は山形県の長井中央ロータリークラブの方々がメーキャップに見えております。後程バナーの交換をしたいと思います。

卓話は、地区 RC 財団委員の大澤栄一様 (東京江東 RC) にロータリー財団の話をお願いしております。
先月末、笹生貞介会員が退会されました。

幹事報告 < 岩田幹事 >

- ・新入会候補の丸岡久芳さんの入会申込カードを、本日皆様のポストに入れてあります。異議のある方は、7日以内に書面にて幹事まで申し出て下さい。
- ・来週11月23日(水)は祭日、再来週11月30日(水)はIMの振替で例会はありません。お間違いのないようにお願いします。
- ・元・青少年交換留学派遣生の山本絵理さん

からピアノソロコンサートの案内が来ております。12月17日(土)18:30より紀尾井町サロンホールで行われます。興味のある方は幹事に声を掛けて下さい。
・本日の例会に、山形県の長井中央ロータリークラブの皆様17名がメーキャップで参加されております。この後、DVDで長井のアピールをして頂き、会長同士でバナー交換を行います。

委員会報告

<ローターアクト委員会 山尾委員長>

・12月7日開催のローターアクト例会の出

欠表をまわします。渡辺会長の卓話予定
ですので、奮って出席をお願いします。

ニコニコボックス

<東京足立R.C. 北澤艶子様>

・久方振りにお邪魔させて頂きました。宜しく
お願い致します。

<渡辺会長、岩田幹事>

・山形長井中央ロータリークラブの皆様、い
らっしゃいませ。大澤さん、卓話よろしく
お願いします。



山形長井中央ロータリークラブ尾形会長とバナーの交換

<山尾、太田、上原、大塚>

・地区RC財団委員・東京江東RC 大澤栄一様、
本日の卓話よろしくお願いたします！

<斎藤、宮崎、山尾、原田、浜中、長井、上野>

・山形長井中央ロータリークラブの皆さんを
心より歓迎いたします！

<天笠>

・先日の土・日、恒例のバーゲンセールをい
たしました。多くの会員の家族の方に来て
いただきました。ありがとうございました。

<宮崎>

・熊本地震復興支援をよろしくお願いたします。

<宮崎、太田、後上>

・東北復興支援継続を！

<立野>

・100%出席の表彰をして戴きまして誠に有
難うございました。

<内田>

・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難う
ございました。

卓話

「ロータリー財団 100 周年の意義」



地区RC財団委員

東京江東ロータリークラブ

大澤栄一様

1. 本年度のジョン・ジャームRI会長テーマは「人類に奉仕するロータリー」です。これは財団100周年に沿ったテーマだと思います。特にジャーム会長は、お父様がポリオにかかれ、困難を乗り越える姿を見てきたので、ポリオ撲滅には力を入れています。
2. 今から100年前の1917年アトランタ国際大会で、アーチ・クランプRI会長が「ロータリーで基金を作り、世界規模で慈善、教育、社会奉仕において“世界で何か良いことをしよう”」と提案、採択されロータリー財団が創設されました。この財団の100周年を祝って、来年6月にはアトランタでロータリー国際大会が開催されます。
3. ロータリー財団がどのようなプログラムかは①ポリオ撲滅。②ロータリー平和フェロシップ。③補助金プログラム。この三つだけです。
4. まず、ポリオ撲滅です。1988年に125か国35万人がポリオに罹っていました。それがロータリーを含む多くの団体の尽力で、2015年には2か国74人にまで減少しました。ワクチン接種で免疫抗体を作り予防をします。僅か60円のワクチンで一人の子供をポリオから守ることができます。
5. 次のプログラムは「ロータリー平和フェロシップ」です。今、世界では50か所以上で国際紛争があります。世界各地で平和の推進者となる人材を育成するための奨学金制度です。ポール・ハリス没後50年の節目に平和センター設置の計画が持ち上がり、2002年にプログラムが始まりました。財団が候補者の中から100名を選抜し、世界6大学で紛争予防・解決を学びます。
6. 次は、私たちのクラブが奉仕活動を行う補助金プログラムです。「補助金」は我が地区の会員が財団に対して寄付したものが原資です。3年前の寄付の約半分が地区に戻ってきます。「補助金」は、「地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類に分かれます。どちらの補助金も「人道的プロジェクト」と「奨学金」に使用可能です。
「地区補助金」の総額は約1,000万円です。地区補助金の「人道的プロジェクト」は、私たちクラブが主体となり、単独で一年で完了する比較的小規模な奉仕活動です。プロジェクト総額の8割かつ最大40万円まで補助されます。地区補助金の「奨学金」は、音楽・芸術・哲学・歴史など分野を問わない専攻で海外の大学に留学する方を支援します。
「グローバル補助金」の「人道的プロジェクト」は、実施国と援助国のクラブが協力して行う総額300万円以上の大規模な奉仕活動で、内容はロータリーの6つの重点分野に限られ、大きな成果と長期的持続が望まれる活動です。プロジェクト総額は300万円以上ですが、総額1000万円以上のものは大変厳しい審査があります。
7. さて、今年度上山ガバナー年度の我が地区の寄付方針です。①年次基金へ15,000円 ②ポリオプラス基金へ3,000円 ③恒久基金へ3,000円 ④ロータリー平和フェローへ2,000円 計23,000円をお願い申し上げます。
8. 日本のロータリーの寄付は、まず公益財団法人ロータリー日本財団に入り、そこから本部に送られるので、個人、法人からのご寄付には税制上の優遇措置が受けられます。
9. ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。この奉仕活動の原資になる寄付をお願いしています。集金マシンと揶揄される財団委員会ですが、私達はもう少し上品に「浄財ボックス」と名付け、ロータリアン一人一人の真心を頂きたく存じます。本日はロータリー財団の全体像をお話しましたが、このロータリーの奉仕活動の根幹をなす財団の100周年の意義をご理解頂き、寄付にご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。